

地域医療支援病院運営委員会議事録

平成 28 年 9 月 15 日（木）19:00～

事務局

（開会前の資料確認・委員紹介）

「それでは皆様、お時間となりましたので、始めさせていただきたいと
思います。」

「皆様、本日はお忙しいなか、平成 28 年度第 1 回 千葉市立青葉病院
地域医療支援病院 運営委員会にご出席をいただきまして、誠に
ありがとうございます。」

私は、本日、司会進行を務めさせていただきます、当病院事務局
事務長補佐の石井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。」

「開会に先立ちまして、お配りいたしました資料のご確認、出席委員及び
職員のご紹介をさせていただきます。」

「まず、お配りいたしました資料でございますが、運営委員会次第、
席次表、委員一覧、運営委員会設置要綱、「地域医療支援病院としての
役割を果たす要件の実績報告」の 5 点、その他当病院のパンフレット等 5 点、以上 10 点
となりますが、不足はございませんでしょうか。」

「よろしいでしょうか。」

「続きまして、出席委員及び職員のご紹介をさせていただきます。
まず、外部委員の皆様よりご紹介いたします。」

^{さいとう}
千葉市医師会副会長の、齋藤委員でございます。

「齋藤でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

^{かねこ}
千葉市歯科医師会会長の金子委員でございます。

「金子です。どうぞよろしくお願い致します。」

^{なかむら}
千葉市薬剤師会副会長の、中村委員でございます。

「中村です。よろしくお願い致します。」

^{てらぐち}
千葉県看護協会常任理事の、寺口委員でございます。

「寺口でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

^{ふるかわ}
古川医院、院長の古川委員でございます。

「本日は遅くなって申し訳ありません。古川でございます。よろしくお願い致します。」

こいで 内科消化器科クリニック、院長のこいで小出委員でございます。

「小出です。いつもお世話になります。よろしくお願い致します。」

おおあさ千葉市消防局長の、大麻委員でございます。

「大麻でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

やまぐち千葉市保健所長の山口委員でございます。

「山口です。よろしくお願い致します。」

なかたになお、千葉南病院、院長の中谷委員、千葉市保健福祉局健康部長の、

かせ加瀬委員、におかれましては、本日欠席となっております。」

「続きまして、内部委員及び職員をご紹介します。

青葉病院、院長の山本でございます。

「山本です。よろしくお願い致します。」

副院長の村上でございます。

「村上です。よろしくお願い致します。」

同じく副院長の岡野でございます。

「岡野です。よろしくお願い致します。」

診療局長の横田でございます。

「横田です。よろしくお願い致します。」

看護部長の久保でございます。

「久保でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

薬剤部長の安見でございます。

「安見でございます。よろしくお願い致します。」

事務長の神崎でございます。

「神崎でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

医事室長の高橋でございます。

「高橋でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

地域連携副室長の菅原でございます。

「菅原でございます。どうぞよろしくお願い致します。」

尚、地域連携室長の志鎌でございますが、現在急患対応中のため、出席致しておりません。

以上でございます。どうぞよろしくお願い致します。

なお、両副院長につきましては、所用のため紹介をもちまして退席とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。」

→ 両副院長退席

「先程、ご紹介をさせていただきました配布資料でございますが、資料中の委員一覧をご覧くださいと思います。誠に申し訳ございませんが、外部委員 中村委員様、性別が女となっております。お詫び申し上げます。申し訳ございません。」

「それでは、開会宣言に移りたいと思います。

開会宣言は、神崎事務長にお願いしたいと思います。」

神崎事務長 (開会宣言)

「これより、平成28年度第1回千葉市立青葉病院 地域医療支援病院運営委員会を開会いたします。開会に際し、山本委員長よりご挨拶を申し上げます。」

山本院長 (挨拶)

「こんばんは。お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。」

地域医療支援病院は、数年前より、寺野元副院長が、紹介率・逆紹介率を上げる努力をされて発足に至ったという経緯があります。当院は、救急と病診連携を重視しており、予定外の入院患者が全入院患者の50%を占めるということで、それだけ周囲の先生方との連携と逆紹介が非常に重要となっております。

今日はその第1回の委員会ということで、ご審議のほどよろしくお願い致します。」

「それでは、この会議の議事進行ですが、志鎌が不在のため、神崎事務長にお願いしたいと思います。神崎事務長、よろしくお願いいたします。」

→ 神崎事務長が自席から議事進行席に移動

神崎事務長

「では、よろしくお願い致します。事務長の神崎と申します。本来であれば、地域連携室長の志鎌が対応するところではありますが、急患対応のため、かわりに進行役を務めさせていただきます。不慣れでございますが、どうぞよろしくお願い致します。」

「それでは、議事を進めさせていただきます。」

初めに、千葉市立青葉病院 地域医療支援病院 運営委員会
設置要綱について、事務局よりご説明申し上げます。」

菅原地域連携室副室長

「千葉市立青葉病院地域医療支援病院運営委員会設置要綱について説明させていただきます。お手元にある資料をご覧ください。設置要綱につきまして、今回はご覧の通りですが、任期につきましては、委員の任期は2年ということになっております。開催については、四半期に一回、5月、8月、11月、2月となっておりますが、今回は1回目のため、9月の開催とさせていただきます。それ以外につきましては、この紙面の通りになります。以上です。」

神崎事務長

「お配りしました紙面の通りとのことですが、委員の皆さま、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。」

古川委員

「古川委員の古川です。開催の回数が年4回ということですが、これは決定事項と考えてよろしいでしょうか？」

山本委員長

「設置要綱には4回となっておりますが、皆様ご多忙のところ、おそらく2回というところが実質的なものと考えております。」

古川委員

「わかりました。できれば、例えば5月でしたら第何週とか何曜日とか、決めていただくことはできますか？そうすれば予定が立てやすいのですが。」

山本委員長

「今回は初めてですので本日となりましたが、次回からは月と週数を決めて、前もって先生方に通知します。」

古川委員

「わかりました。ありがとうございます。」

神崎事務長

「他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。」

それでは今回、提案させていただきました要綱につきましては、提案議案のとおりとさせていただきます。

続きまして、地域医療支援病院としての役割を果たす要件について、事務局より説明をお願いします。」

菅原地域連携室副室長

「お手元の、地域医療支援病院としての役割を果たす要件の実績報告をご覧ください。平成 27 年度について、ご報告をさせていただきます。地域支援病院の紹介率、逆紹介率につきましては、紹介率 72.8%、逆紹介率 79.4%でした。

救急医療の医療実績については、I C U 4 床、5492 人の救急患者様、2591 人が入院となっております。

共同利用の実績ですが、C T ・ M R I 49 件、ホールあおば 1 件

地域医療従事者に対する研修実績は、院外参加者 369 名

患者相談の実績ですが、スタッフ 6 名で、5134 人の患者さんの相談対応を行いました。相相談件数 42147 件、退院支援を中心に、病院・診療所・施設・ケアマネージャーと皆さまと連携させていただきました。

その他の地域支援病院に求められる取り組みとして、病院の機能に関する第 3 社による評価については、病院機能評価機構に平成 27 年度受審申し込み、平成 28 年 7 月 28・29 日に受審しました。結果については、次回ご報告いたします。

果たしている役割に関する情報発信については、広報紙あおばを年 2 回、医療機関向け広報紙もえぎを年 22 回発行しました。

退院調整部門につきましては、入院時にスクリーニングシートを利用し、退院支援が必要な患者については、医師・病棟看護師と一緒に早期から患者・家族と面談し、退院試験計画書を作成しました。退院支援を行った患者は 1912 人でした。

地域連携を促進するための取り組みとして、地域連携パスの運用を行っております。大腿骨頸部骨折地域連携パス 68 件、脳卒中地域連携パスを 20 件、大腸がん地域連携パスを 4 件を運用しました。
以上でございます。

神崎事務長

「それでは、⑥まででご質問 がございますたらお願いします。」

神崎事務長

「ないようですので、この議題については、説明のとおりとさせていただきます。」

続いて、平成 28 年度支援病院としての取り組みについて、説明をお願いします。」

菅原地域連携室副室長

「先程の資料をご覧ください。」

H28 年度地域医療支援病院について説明させていただきます。

紹介、逆紹介について、院長・地域連携室長・清水消化器外科部長が診療所訪問を行い、「顔の見える連携」を進めてまいります。お手元の資料にありますように、地域医療機関から紹介していただくために、「病院案内」「診療案内」と改訂し、診療内容について広報してまいります。病院広報紙「あおば」を年 2 回発行し、市民・地域医療機関に最新のトピックス・スタッフ紹介等を行い、当院の診療について広報してまいります。

昨年度に引き続き広報紙「もえぎ」で、診療予約方法や専門外来等についてタイムリーに情報発信してまいります。

救急医療提供については、救急棟が平成 27 年 10 月に開棟し、救急車の受け入れ体制が充実し、兵士永 28 年度も引き続き救急医療の提供を行ってまいります。

共同利用については、CT・MR の共同利用に希望が減っているので、地域医療機関で必要とされる検査機器等について情報収集を行い、院内での運用を検討します。

地域医療従事者等に対する研修開催予定は以下の通りとなっております。

合計 13 回の開催を予定しております。

神崎事務長

「地域医療支援病院としての役割を果たす要件について、平成 27 年実績報告と平成 28 年度支援病院としての取り組み等につきまして、ご意見、ご質問をお願いします。」

山口委員

「先程の実績報告にもありましたが、ホールあおばを貸し出した実績が去年 1 件とのことで、どのような内容でどういう方と共同利用したのか、どういう方を対象としているのか、手続きはどうしたらよいのか、貸せるということを聞いたことがないので、どのような広

報をしていくのか聞きたいです。」

菅原地域連携室副室長

「ありがとうございます。昨年度は、中央区の多職種連携の会をホールあおばで開催させていただいております。当院は中央区にありますので、中央区の医療・介護職のスタッフが連携を持つ会として、当院のホールをお貸ししました。これにつきましては、医師会の和田先生からもご依頼がありまして、ホールあおばをお貸ししました。」

神崎事務長

「広報はしていましたか？」

菅原地域連携室副室長

「掲示はしていないのですが、ご希望がある場合は調整をさせていただくことは可能です。」

神崎事務長

「今後、必要であれば、医師会便り、市政便りなどで広報していきましょう。よろしくお願いします。」

他に何かございますか？」

齋藤委員

「平成28年度で、CT、MRIの共同利用で、希望が減っているということですが、減ったという理由は、例えば、結果が出るまでに時間がかかるといった利用しづらさがあったということでしょうか。」

是非利用したと思っていますが、その場合は出来るだけ早く結果が出るのが第一選択になるとしています。」

山本委員長

「それにつきましては、減った理由としましては、開業医の先生で取り入れられたところがありまして、減ったと思われます。ご指摘の通り、CTについては、当院では大学の放射線科医に読影をお願いしているため、読影してもらっている時間が、時期によってずれることがありまして、今まで2か月かかることがありましたが、今は少し改善してきておりまして、1～2週間で返ってくるようになりましたし、急ぎの場合は、先にやるようお願いすれば、改善できると考えています。」

齋藤委員

「ぜひよろしくお願いします。」

開業医の中に専門医がいて、開業医の中でも自分で読影できる医師や、読影できる専門医に頼めることもあるので、結果をすぐ出してもらえればと思います。そういった項目があ

ればうれしいです。」

山本委員長

「そのあたりは、細かいご要望には応えていきたいと考えております。」

齋藤委員

「よろしくお願いします」

神崎事務長

「それでは、本日の議題は以上でございますが、この機会に当院にご要望等ございましたら、ご意見いただければと思います。」

小出委員

「よく青葉病院へ行きたいと話をすると、どうやって行きたいか？という話にならな行き方が不便で、どうやって何で来る方が一番多いのでしょうか？バスなのか、バスでも千葉大から歩いてくるのか、自家用車なのか、タクシーなのか、患者さんに紹介しやすいのですが。」

神崎事務長

「基本的には、自家用車が一番多いと思いますが、千葉大経由のバスで、川戸行きなどバスも何本も出ておりまして、バス停はすぐ隣に徒歩1分にあります。最近は、特に院長の外来の日の火曜、水曜は車が入れないくらい来ているときもあるので、遠くから来られるからは、バスで来られる方が多いようですが、自家用車が多いと思います。」

小出医院

「駐車場は何台ですか？」

神崎事務長

「上下合わせて356台です。身障者用も新しく作り、入れない場合は中庭にも15台くらい入ります。最近は予約制をとっておりますので、初診の方はある程度予約でばらけておりますので、以前よりは対応できていると思います。機械式もありますが、危ないので、職員が使用しております。」

患者数が増えておりまして、なかなか受け入れが難しい状況になっていることがあります。」

山本院長

「昨年よりは7～8%良くなっているのですが、病院局の目標には3～4%達していない状況で、まだまだ対応できますのでよろしくお願いします。」

齊藤委員

「公務員の方の交代などあるようですが、ぜひこれから情報、連絡等よろしくお願いします。」

神崎事務長

「ないようですので、以上をもちまして、平成２８年度第１回千葉市立青葉病院 地域医療支援病院 運営委員会を閉会させていただきます。

本日は、お忙しいなかご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

なお、事務局よりご連絡がございますので、よろしくお願いします。」

事務局

「皆様、お疲れ様でございました。事務局より１点ご連絡を申し上げます。次回の開催でございますが、来年の１月か２月を予定しております。先程のご意見をいただいたことでもありますので、後日、スケジュール調整をして、ご連絡させていただきますので、当運営委員会への出席につきまして、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は、お忙しいなか、誠にありがとうございました。」